

令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



令和元年11月8日

上場会社名 栗林商船株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9171 URL <https://www.kuribayashishosen.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 宏吉  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 小谷 均 (TEL) 03-5203-7982  
 四半期報告書提出予定日 令和元年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日~令和元年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	23,440	2.8	353	△9.8	488	△3.6	259	△46.7
31年3月期第2四半期	22,800	△2.0	392	△62.4	506	△55.8	486	△51.4

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 △179百万円(—%) 31年3月期第2四半期 986百万円(△47.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	20.55	—
31年3月期第2四半期	38.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	55,856	21,134	32.1
31年3月期	56,935	21,452	32.0

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 17,903百万円 31年3月期 18,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2年3月期	—	0.00			
2年3月期(予想)			—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

31年3月期の期末配当の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 6円00銭

3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△1.2	1,000	△42.0	1,300	△32.5	800	△51.2	63.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	12,739,696株	31年3月期	12,739,696株
② 期末自己株式数	2年3月期2Q	99,099株	31年3月期	152,771株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	12,602,263株	31年3月期2Q	12,587,615株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調だった非製造業が陰りを見せ始めており、製造業は海外における貿易摩擦の長期化、海外経済の減速による輸出の低迷など、先行き不透明な状況で推移しております。海外においても中国の経済成長の鈍化や欧州の政治的な混乱、中東情勢の緊迫化など地政学的リスク等も加わり、予断を許さない状況が続いております。

このような経済情勢の中で当社グループは、海運事業においては、北海道定期航路は主要貨物の減少や台風の影響があったものの貨物輸送量は堅調に推移し、燃料費も前年並みに推移いたしましたが、近海航路は市況の弱含み状態が続いており、加えて中国経済の減速や悪天候の影響もあり減益となりました。

ホテル事業においては、客室リニューアルによる客室増加および宿泊単価の上昇もあり、増収・増益となりました。

不動産事業は概ね順調に推移しております。

以上の結果、売上高が前年度に比べて6億4千万円増(2.8%増)の234億4千万円、営業利益が前年度に比べて3千8百万円減(9.8%減)の3億5千3百万円、経常利益が前年度に比べて1千8百万円減(3.6%減)の4億8千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年度に比べて2億2千7百万円減(46.7%減)の2億5千9百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

#### (海運事業)

北海道定期航路では、主要貨物の紙製品の減少や台風による配船変更や減便はありましたが、商品車両や雑貨の取り込みによって複合一貫輸送が増加したことや建築資材のスポット輸送を行ったことで貨物輸送量は堅調に推移し、燃料費も前年並みであったことで概ね前年並みの実績となりました。近海航路では市況は弱含みの状態が続いており、米中貿易摩擦による中国経済の減速や6月末からの悪天候や台風の影響でスポット船の収益が悪化したことで減益となりました。これらの結果、売上高は前年度に比べて5億4千2百万円増(2.5%増)の220億8千7百万円となり、営業費用は前年度に比べて6億2千6百万円増(2.9%増)の218億8千1百万円で、営業利益は前年度に比べて8千3百万円減(28.8%減)の2億5百万円となりました。

#### (ホテル事業)

客室リニューアルによる客室増加および宿泊単価が上昇したことで増収・増益となりましたが、訪日外国人客が減少に転じたことや国内需要もゴールデンウィーク以降の客足鈍化やお盆休みの需要が低調だったことで収益が伸び悩みました。これらの結果、売上高は前年度に比べて9千9百万円増(10.4%増)の10億5千4百万円となり、営業費用は前年度に比べて4千5百万円増(4.7%増)の10億2千2百万円で、営業利益は前年度に比べて5千4百万円改善の3千1百万円となりました。

#### (不動産事業)

前年度と同様に順調に推移しておりますが、前年度の設備投資により減価償却費が増加したことで減益となりました。これらの結果、売上高は前年度に比べて2百万円減(0.6%減)の3億3千9百万円となり、営業費用は前年度に比べて7百万円増(3.3%増)の2億2千2百万円で、営業利益は前年度に比べて9百万円減(7.3%減)の1億1千6百万円となりました。

**(2) 財政状態に関する説明**

当第2四半期末の資産の残高は、現金及び預金や受取手形及び売掛金など流動資産が減少したことや保有株式の時価の下落などによる投資有価証券の減少等により、前期末に比べて10億7千8百万円減少の558億5千6百万円となりました。

負債の残高は、長期借入金の増加はあったものの仕入債務が減少したこと等により、前期末に比べて7億5千9百万円減少の347億2千2百万円となりました。

純資産の残高は、保有株式の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前期末に比べて3億1千8百万円減少の211億3千4百万円となりました。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

当期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績およびS0x規制に対応した最新の燃料油価格、船隊構成強化のための入渠修繕などの費用増を反映させ、前回（令和元年5月10日）公表いたしました業績予想を修正しております。

令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	1,200	1,500	1,100	87.39
今回修正予想(B)	47,000	1,000	1,300	800	63.48
増減額(B)-(A)	0	△200	△200	△300	—
増減率(%)	0.0	△16.7	△13.3	△27.3	—
(参考)前期実績 (平成31年3月期)	47,588	1,724	1,926	1,637	130.11

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,134,810	7,274,055
受取手形及び売掛金	9,687,678	8,714,448
商品及び製品	48,263	49,795
原材料及び貯蔵品	238,914	288,973
未収入金	109,193	74,530
その他	439,682	547,295
貸倒引当金	△552	△595
流動資産合計	18,657,990	16,948,504
固定資産		
有形固定資産		
船舶	26,501,031	26,558,082
減損損失累計額	△502,000	△502,000
減価償却累計額	△20,383,578	△20,753,735
船舶(純額)	5,615,453	5,302,346
建物及び構築物	22,756,410	22,769,536
減価償却累計額	△16,974,295	△17,166,089
建物及び構築物(純額)	5,782,114	5,603,447
機械装置及び運搬具	10,576,752	10,850,097
減価償却累計額	△9,343,455	△9,543,058
機械装置及び運搬具(純額)	1,233,296	1,307,039
土地	10,161,441	10,159,291
リース資産	1,929,433	1,998,733
減価償却累計額	△1,193,257	△1,278,482
リース資産(純額)	736,176	720,251
建設仮勘定	1,654,544	3,281,285
その他	2,320,456	2,395,552
減価償却累計額	△1,956,995	△1,981,329
その他(純額)	363,460	414,222
有形固定資産合計	25,546,488	26,787,884
無形固定資産		
借地権	1,033,258	1,033,258
ソフトウェア	32,633	87,244
のれん	144,752	133,964
その他	50,954	45,475
無形固定資産合計	1,261,598	1,299,943
投資その他の資産		
投資有価証券	10,110,081	9,409,018
長期貸付金	1,382	948
繰延税金資産	435,530	478,306
保険積立金	535,310	555,624
その他	397,016	392,141
貸倒引当金	△35,345	△38,560
投資その他の資産合計	11,443,975	10,797,478
固定資産合計	38,252,062	38,885,306

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	25,173	23,166
繰延資産合計	25,173	23,166
資産合計	56,935,226	55,856,977
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,582,935	5,990,148
短期借入金	4,721,481	4,237,351
1年内返済予定の長期借入金	2,405,042	2,530,035
1年内期限到来予定のその他の固定負債	428,436	428,436
1年内償還予定の社債	623,160	554,660
リース債務	219,282	226,983
未払法人税等	529,114	367,804
賞与引当金	420,770	436,611
その他	1,103,548	1,247,804
流動負債合計	17,033,772	16,019,837
固定負債		
社債	1,135,040	1,234,460
長期借入金	7,841,454	8,535,928
長期末払金	3,695,789	3,523,141
リース債務	611,054	581,545
繰延税金負債	1,735,913	1,568,949
役員退職慰労引当金	753,386	631,556
退職給付に係る負債	2,123,328	2,115,244
負ののれん	358,588	318,043
その他	194,519	194,197
固定負債合計	18,449,076	18,703,067
負債合計	35,482,848	34,722,904
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,215,035	1,215,035
資本剰余金	946,704	956,799
利益剰余金	12,926,312	13,034,297
自己株式	△42,023	△27,269
株主資本合計	15,046,028	15,178,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,183,556	2,724,703
繰延ヘッジ損益	△681	△458
その他の包括利益累計額合計	3,182,874	2,724,245
非支配株主持分	3,223,474	3,230,965
純資産合計	21,452,378	21,134,073
負債純資産合計	56,935,226	55,856,977

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	22,800,075	23,440,689
売上原価	19,124,043	19,636,526
売上総利益	3,676,031	3,804,162
販売費及び一般管理費	3,283,764	3,450,169
営業利益	392,267	353,993
営業外収益		
受取利息	400	213
受取配当金	131,158	150,014
助成金収入	8,974	10,898
負ののれん償却額	40,544	40,544
持分法による投資利益	15,293	11,400
受取保険金	15,610	18,400
その他	48,958	44,147
営業外収益合計	260,940	275,621
営業外費用		
支払利息	119,475	114,447
その他	27,057	26,650
営業外費用合計	146,533	141,097
経常利益	506,674	488,516
特別利益		
投資有価証券売却益	—	27,762
固定資産処分益	5,797	7,713
保険解約返戻金	252	4,897
補助金収入	204,774	120
その他	9,166	—
特別利益合計	219,990	40,493
特別損失		
固定資産処分損	574	4,939
役員退職慰労金	—	40,136
その他	533	4,705
特別損失合計	1,107	49,782
税金等調整前四半期純利益	725,558	479,228
法人税、住民税及び事業税	178,755	188,819
法人税等調整額	11,481	△2,999
法人税等合計	190,237	185,819
四半期純利益	535,320	293,408
非支配株主に帰属する四半期純利益	49,218	34,380
親会社株主に帰属する四半期純利益	486,102	259,027

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
四半期純利益	535,320	293,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450,381	△473,402
繰延ヘッジ損益	360	223
その他の包括利益合計	450,741	△473,179
四半期包括利益	986,062	△179,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	948,009	△199,601
非支配株主に係る四半期包括利益	38,052	19,831

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	725,558	479,228
減価償却費	1,156,989	1,017,095
株式報酬費用	—	24,863
のれん償却額	10,788	10,788
負ののれん償却額	△40,544	△40,544
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△359	3,258
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,631	15,841
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	19,862	△121,830
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	52,340	△8,084
受取利息及び受取配当金	△131,559	△150,228
支払利息	119,475	114,447
固定資産処分損益(△は益)	△5,223	△2,773
補助金収入	△204,774	△120
持分法による投資損益(△は益)	△15,293	△11,400
売上債権の増減額(△は増加)	144,288	974,036
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67,790	△51,590
仕入債務の増減額(△は減少)	105,956	△593,185
その他	△270,796	△57,735
小計	1,636,549	1,602,064
利息及び配当金の受取額	131,559	150,228
利息の支払額	△119,614	△108,488
法人税等の支払額	△274,606	△351,938
補助金の受取額	204,774	120
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,578,662	1,291,985
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,281,735	△2,088,673
有形固定資産の売却による収入	9,966	49,330
無形固定資産の取得による支出	△1,761	△67,438
投資有価証券の取得による支出	△9,159	△9,950
投資有価証券の売却による収入	—	69,935
その他	△29,814	△53,544
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,312,504	△2,100,342

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	560,000	60,000
短期借入金の返済による支出	△1,591,599	△544,129
長期借入れによる収入	2,764,500	2,009,517
長期借入金の返済による支出	△1,137,773	△1,190,050
長期未払金の返済による支出	△175,523	△172,647
社債の発行による収入	394,073	395,717
社債の償還による支出	△769,080	△369,080
リース債務の返済による支出	△110,526	△115,296
自己株式の取得による支出	△595	△13
配当金の支払額	△75,528	△151,043
非支配株主への配当金の支払額	△12,340	△12,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,392	△89,365
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,105	1,266
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	114,871	△896,454
現金及び現金同等物の期首残高	6,716,257	7,655,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,831,128	6,759,358

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,544,313	954,378	301,383	22,800,075	—	22,800,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	39,942	39,942	△39,942	—
計	21,544,313	954,378	341,325	22,840,018	△39,942	22,800,075
セグメント利益又は損失 (△)	289,043	△22,679	125,903	392,267	—	392,267

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,087,146	1,054,085	299,458	23,440,689	—	23,440,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	39,861	39,861	△39,861	—
計	22,087,146	1,054,085	339,319	23,480,550	△39,861	23,440,689
セグメント利益	205,720	31,537	116,734	353,993	—	353,993

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)

## 令和2年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成31年4月1日 至令和元年6月30日	自令和元年7月1日 至令和元年9月30日	自令和元年10月1日 至令和元年12月31日	自令和2年1月1日 至令和2年3月31日
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,716	11,724		
営業利益又は営業損失(△)	△83	437		
経常利益	47	440		
税金等調整前四半期純利益	34	445		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	50	208		
1株当たり四半期純利益	円 4.00	円 16.54	円	円
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	55,207	55,856		
純資産	20,960	21,134		

## 平成31年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成30年4月1日 至平成30年6月30日	自平成30年7月1日 至平成30年9月30日	自平成30年10月1日 至平成30年12月31日	自平成31年1月1日 至平成31年3月31日
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,491	11,308	12,705	12,082
営業利益	8	383	761	571
経常利益	121	384	903	516
税金等調整前四半期純利益	123	601	930	737
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123	362	575	575
1株当たり四半期純利益	円 9.79	円 28.82	円 45.76	円 45.74
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	55,589	56,059	54,638	56,935
純資産	20,291	21,328	20,217	21,452